

これまでに『婦人科疾患の診断・治療法確立と病態解明のためのゲノム・エピゲノム解析研究』、『不妊症もしくは不育症患者の子宮内環境における着床障害や流産のメカニズムの解析』および臨床試料提供にご協力頂いた患者さんへ
【過去の検体および治療データの研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部附属順天堂医院産婦人科では「子宮体がん発生要因に関する研究」を行っております。この研究は、血液やがん組織などから取り出した遺伝子と子宮体がんの発生やその特性との関連性を調べることによって、子宮体がんの病態を解明することを主な目的としています。そのため、過去に『婦人科疾患の診断・治療法確立と病態解明のためのゲノム・エピゲノム解析研究』、『不妊症もしくは不育症患者の子宮内環境における着床障害や流産のメカニズムの解析』および臨床試料提供にご協力頂いた患者さんから提供頂いた検体とカルテ等の治療データを使用させていただきます。

この研究の対象となる患者さんは『婦人科疾患の診断・治療法確立と病態解明のためのゲノム・エピゲノム解析研究』、『不妊症もしくは不育症患者の子宮内環境における着床障害や流産のメカニズムの解析』および臨床試料提供にご協力頂いた方です。

利用させていただく検体とカルテ情報は下記です。

- 検体 : 血液、手術時に摘出された組織（がん、子宮筋腫などの非悪性腫瘍）
摘出組織とともに切除された正常組織、子宮内膜
- カルテ情報 : 診断名、年齢、既往歴、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査結果）、治療経過

この研究は順天堂大学医学部研究等倫理委員会の承認を受けて行われます。

- ・研究実施期間 倫理委員会承認日 ~ 西暦 2026 年 3 月 31 日まで
- ・研究責任者 寺尾 泰久

過去の検体およびデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、検体およびデータを使用させていただいた患者さんへの謝礼等ありません。

患者さんの情報は、匿名化されている情報（どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判別できないように、加工または管理されたものに限る）として研究に用います。また、研究成果は、最新の研究指針を遵守の上、個人情報保護の適切な配慮・措置を行った上で学会や学術雑誌で発表されます。

調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・

研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

この研究は、産婦人科の研究費（文部科学省、厚生労働省等の研究に対する助成金）によって実施しておりますので、外部の特定企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画し実施するものです。従いまして、研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

上記の検体もしくは/および診療情報等を共同研究実施のために下記機関と共有します。

[主な提供方法] 直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他()

- ・国立開発研究法人理化学研究所（研究責任者 向後泰司）
- ・順天堂大学医学部附属浦安病院（研究責任者 氏平崇文）
- ・順天堂大学医学部附属練馬病院（研究責任者 荻島大貴）
- ・順天堂大学医学部附属静岡病院（研究責任者 金田容秀）

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」第12の1(2)ア(ウ)および1(3)イの規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。その場合、試料の利用は停止いたします。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

順天堂大学医学部附属順天堂医院 産婦人科

電話：03-3813-3111（内線）3365

研究担当者：寺尾 泰久